

1 職場における化学物質管理の今後のあり方に関する検討会報告書

【職場における化学物質管理の今後のあり方に関する検討会」報告書抜粋】

3 職場における化学物質管理のあり方

(2) リスクに基づく合理的な化学物質管理の促進

ラベル表示、MSDS、作業環境測定等により伝達される危険有害性に関する情報を踏まえ、リスクアセスメントの結果に応じた合理的な化学物質管理の実施を促進するため、リスクに応じた管理が可能なものから規制の柔軟化及び性能要件化を推進する必要がある。

このため、次の方向で職場におけるリスクに基づく合理的な管理を推進することとする。

- ア 簡便なリスクアセスメント手法の導入、普及及び定着
- イ 個人サンプラーによる測定の導入に向けた検討
- ウ 作業環境測定の評価結果の労働者への周知
- エ 作業環境測定の結果を踏まえた労働衛生管理の推進
- オ 局所排気装置の要件等の柔軟化
- カ 局所排気装置等以外の発散抑制方法の導入
- キ リスク低減の取組に応じたインセンティブの付与

2 平成22年 労働政策審議会建議

リスクに基づく合理的な化学物質管理の在り方については、専門家の意見を聴きつつ、引き続き検討すべきである